



平成 27 年 10 月 9 日

各 位

会社名 イワキ株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩城 修
(コード番号 8095 東証第一部)
問合せ先 取締役経理部長 熱海正昭
(TEL. 03-3279-0481)

業績予想の修正及び子会社の繰延税金資産取崩しに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 1 月 14 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、下記のとおり子会社において繰延税金資産の取崩しを行いましたので、併せてお知らせいたします。

記

平成 27 年 11 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日)
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	53,000	900	950	600	17 円 77 銭
今回修正予想 (B)	55,000	640	770	0	—
増減額 (B-A)	2,000	△260	△180	△600	—
増減率 (%)	3.8	△28.9	△18.9	△100.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 11 月期通期)	54,145	890	971	505	14 円 96 銭

1. 修正の理由

通期連結業績予想につきましては、医薬品事業では、ジェネリック医薬品の需要拡大を受け外皮用剤が好調に推移しており、また一般用医薬品および関連商品では訪日外国人旅行者増加による免税店への販売が伸長しております。医薬品原料・化粧品原料事業では、ジェネリック医薬品原料の抗アレルギー用剤原料および鎮うん剤原料などの販売が好調であり、引き続き医薬品事業および医薬品原料・化粧品原料事業は好調に推移するものと思われまます。

一方、化成品事業では、表面処理薬品において提携先ローム・アンド・ハース電子材料株式会社との契約期間満了に伴い、プリント配線板用薬品、電子部品用薬品の販売が大きく落ち込みました。また、国内では自動車生産台数の減少により車載部品向け薬品が低調に推移、海外ではアジアにおける高機能スマートフォンやタブレット端末の生産鈍化による影響を受けるなど、化成品事業は利益低迷が予想されます。

以上のことから、売上高は医薬品事業および医薬品原料・化粧品原料事業が好調のため当初予想を上回る見込みですが、利益率の良い化成品事業低迷の影響により営業利益、経常利益、当期純利益については前回予想を下方修正いたします。

2. 子会社の繰延税金資産取崩しについて

上記のとおり当社の化成品事業子会社が業績低迷により、当期及び今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産のうち 346 百万円を取崩し、法人税等調整額に計上いたしました。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上